

集落座談会 意見・要望回答（抜粋）

6月13～18日かけて、JA管内の各会場で開催された集落座談会での主なご意見・ご要望と、JAからの回答は次の通りです。

Q 西之表のブロッコリーの集荷体制について、増反等行くと、最盛期など取り遅れが出ないよう収穫しなければならぬ。受入時間を20時頃まで延長出来ないのか。

A 規模拡大に伴う集荷体制については検討致します。中種子集荷場の製氷機を西之表集荷場に移設し、出荷体制の整備を行う事で集荷の効率化を図って参ります。

Q 農産物精算書が1ヶ月まとめて届く平成30年度から本所に集約して精算していることが影響ではないのか。

A 平成30年度以前から精算書については月1回の組合員宅訪問で配付しております。精算が終わり次第、精算書を各地区へ配付しておりますので、必要であれば、組合員課または営農販売課の窓口で随時お渡しいたしますので、ご理解をお願い致します。

Q 青果用さつまいも販売価格について、価格決定通知が遅れて届く状況があり10～20円価格が下がれば生産者としては対応が出来ず所得減となることから、事前に対応できないのか。

A 取引先から4月上旬に単価値下げ依頼がありました。しかし、生産者は植付を行っている時期であることから、今回は、緊急役員会を開催し役員の方に説明を行い了承を受け、役員以外の

生産者については、価格変更内容の通知を行うのみとなりました。今後、価格の見直しを行う際には、取引先に1年前に検討を行うよう依頼を致しました。

Q 節税対策として青色申告の研修会を、集落の公民館等を利用して出張研修を行って頂きたい。

A 農家経営支援センターを開設し、担い手農家への出向く体制を構築しました。今後、所得増大やコスト抑制対策の一環として青色申告研修等、ご要望に応えられるよう、調整を行って参ります。

Q 春肥予約注文書と園芸作注文書で購入したかどうか迷う事がある。注文書を一本化することは出来ないのか。

A 注文書の内容は重複する資料がありますが、春肥予約注文での漏れがあった場合に対応ができるようにしておりますので、ご理解をお願い致します。

Q 畜産関連の伝達事項が遅れているように思われる。郵送のみではなく電話対応等出来ないか。

A 組合員の皆さまへの連絡等は、現在、職員の組合員宅訪問並びに郵送で対応を行っております。急を要する場合は、電話対応するように致します。

Q さとうきびの機械刈りをお願いすると、刈り取りの際引き抜きがあり欠株が多くなっていることがある。刈り取り業者に対して機械の整備の徹底と丁寧な作業を要請してほしい。

A 引き抜きによる欠株等については、生産者にとっては大きな問題ですので、収穫受託組合にこのような意見・要望があったことをお伝えし、要請は随時行って参ります。

Q 廃プラの処理料が値上がりし農家の費用負担が大きくなっている。農家の費用負担が減少するような対策をお願いしたい。

A 廃プラの処理料については、昨年度より値上げ分に対して一部助成を実施しました。今年度も継続して実施します。また、廃プラ処理料や剥ぎ取りの労力を軽減するため、生分解性マルチの普及に取り組んでおります。価格が通常マルチより高額となりますが、補助等も含め価格を抑えられるように努力しておりますので、ぜひご利用を検討頂ければと思います。

Q さとうきびの圃場において、面積が小さな圃場や圃場までの道路が整備されていない場所は機械刈りをしてもらえないのか。

A 大型の車両や機械が入れない圃場は機械刈りが厳しい部分はあると思いますが、高齢化が進む中でさとうきびの面積を維持するために省力化が必要かと考えます。地区によっては、圃場や農道の整備が遅れている状況にありますので、行政に対して圃場・農道の整備も要請して参ります。

Q さとうきびを刈り倒したままで受入が出来よう新光糖業に要請しているが、どのような状況か。

A 一部生産者から新光糖業に対して無脱葉手刈り原料搬入要請があったと報告を受けております。新光糖業の受入方針を含め、関係者と協議を進めている状況です。

Q 営農指導員の作物担当が毎年代わるため、担当によって指導が変わる。固定が出来ないものか。また、指導員が退職した際の人材確保の取り組みを検討した方が良いのではないのか。

A 指導員については、人事異動の関係で変更される場合がありますが、生産者の皆様に極力ご迷惑がからないよう検討して参ります。また、人材確保に関しては、新たな取り組みとして、農大等に進学する方に対して農協独自の奨学金制度を検討しております。制度の内容等が決定次第、早急に取り組みを行って参ります。

Q 畜産指導員について、ここ数年で多数やめている。現行の人数では、子牛検査・登録検査等で手一杯で、指導ができないのではないのか。また、指導員については、共済推進体制から外して農家指導に力を入れるべきではないのか。

A 指導員の確保対策については、島外の種子島出身者（OB）も含めて検討を行います。また、共済推進についても総合事業で経営が成り立っていることや、他の職員との公平性なども踏まえながら検討して参ります。

Q さとうきび基金事業の堆肥が配達されなかったため、作業ができなかった。鹿児島から堆肥を購入しているとのことだったが、島内の畜産農家と連携し堆肥を受け入れ散布することはできなかったのか。

A さとうきび基金事業については、約

【全体運】 一時の感情で行動すると失敗しやすい月。冷静さを大切に。キッチンやお風呂など、水回りの掃除で運氣が回復
 【健康運】 暑くても体の冷やし過ぎはNG。ほどほどに
 【幸運を呼ぶ食べ物】 スダチ

